

平成24年7月12日梅雨前線による 稲葉ダム洪水調節の効果について

【速報推計】

平成24年7月12日梅雨前線における稲葉ダムの洪水調節の効果についてお知らせします。
降雨の影響により稲葉ダム流域では7月11日5時より雨が降り始め、12日1時頃から急激に強くなり、雨量21mm以上が7時間継続する記録的豪雨となりました。
その後、雨脚は徐々に弱まり、12日15時までの累計は稲葉ダム流域で307mmに達しました。
このため、稲葉ダムでは12日2時46分に洪水調節を開始し、ダムへの流入量は急激に増加し、12日6時36分には最大流入量436.67m³/sを記録したため、稲葉ダムで204.7m³/sを貯留し、233.15m³/s放流することにより、ダム下流の水位低減を図りました。
その後、降雨の減少に従い、徐々にダム水位は低下を始め、12日8時16分には、洪水量200m³/s以下となり、洪水調節を終了しました。
今回の洪水で稲葉ダムの効果としては、218万m³(大銀ドームの約1杯分)の流水を貯留したことで、下流稲葉川竹田橋地点において、稲葉ダムが無かった場合と比べ、1.3m程度の河川水位を低減したものと推測されます。



平成24年7月12日

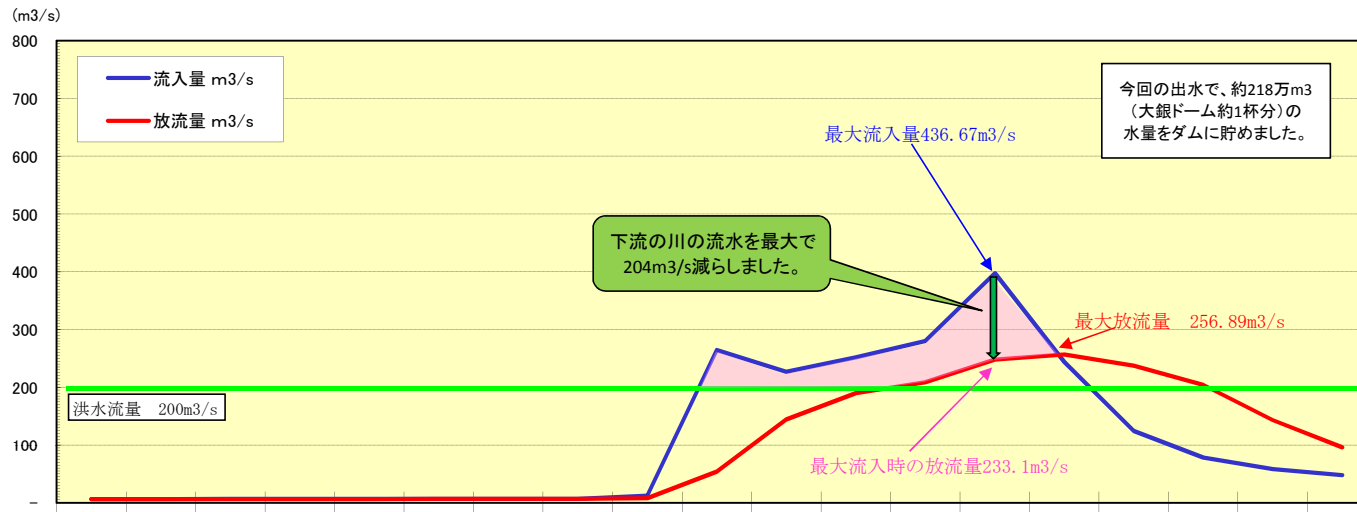
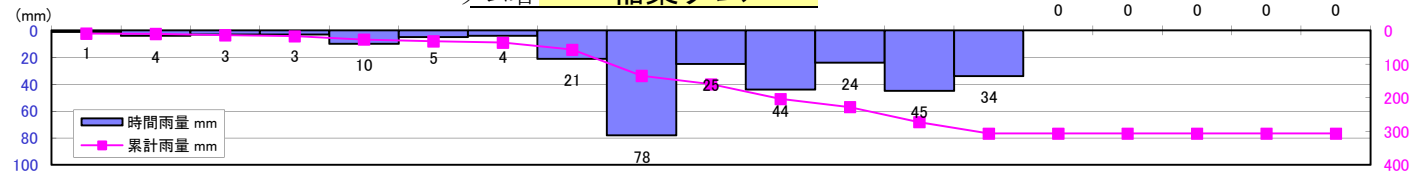
問い合わせ先

大分県 土木建築部 河川課 ダム・海岸班
TEL (097)506-4596(直通)

大分県 竹田土木事務所 河川砂防班
TEL (097)463-2104

平成24年7月12日梅雨前線による稲葉ダム洪水調節の効果について

ダム名 **稲葉ダム**



日時	日/時	時間雨量 mm	累計雨量 mm	貯水位 m	流入量 m ³ /s	放流量 m ³ /s
	11/18	1	9	438.19	6.1	6.1
	11/19	4	10	438.2	6.1	6.3
	11/20	3	14	438.21	6.9	6.5
	11/21	3	17	438.21	6.9	6.5
	11/22	10	27	438.21	6.9	6.5
	11/23	5	32	438.22	6.7	6.7
	12/0	4	36	438.22	6.7	6.7
	12/1	21	57	438.23	7	6.9
	12/2	78	135	438.29	12.3	8.2
	12/3	25	160	439.89	264.8	53.8
	12/4	44	204	441.87	227	144.4
	12/5	24	228	442.75	252	###
	12/6	45	273	443.62	279.9	208.8
	12/7	34	307	445.73	397.4	247.7
	12/8	0	307	446.27	243.5	256.6
	12/9	0	307	445.13	124.5	237.3
	12/10	0	307	443.43	78.2	204.3
	12/11	0	307	441.84	58.5	142.9
	12/12	0	307	440.89	47.6	95.8

洪水量436.67m³/sのうち204m³/sを調節

最大流入量 436.67m³/s
最大放流量 256.89m³/s

平成24年7月12日梅雨前線による 稲葉 ダム洪水調節の効果について

【 竹田橋地点の河川水位比較 】

